

平成25年

謹賀新年



新年のご挨拶



揖斐川町長

宗 宮 孝 生

輝かしい新年を迎え、今年も町民の皆さまにとつて、良い一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、岐阜県では47年ぶりに開催された「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」をはじめ、まさにスポーツイヤーであったと思えます。特に、国体・大会におきましては、民泊や地域応援など、町民の皆さまには様々な形でご協力をいただき、選手や監督を始めとする多

に、こうした「まちの力」を、今後の地域づくりに活かすことこそ、揖斐川町の発展につながるものだと実感しております。

現在、揖斐川町では、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めておりますが、現在、防災面における一番の関心事として、原発問題がございます。町としましては、住民の皆さんの安全確保と不安解消を第一に

考えており、今年度は、県と連携しつつ、坂内川上地域にモニタリングポストを設置し、観測する空間放射線量や気象情報を、本庁舎1階に設置します端末機で、住民の皆さんにもご確認いただけるよう整備しますほか、県庁と揖斐川町役場、敦賀・美浜のオフサイトセンターとを専用回線で結び、緊急時にはテレビ会議などにより、リアルタイムで情報収集できるようにいたします。

さらに、緊急時の避難の仕方など、

町としての具体的な対応策を定めるべく、現在、国の原子力災害対策指針や県の放射性物質拡散シミュレーションを参考に、原子力災害に関する防災計画の作成を進めているところであり、今年度中に完成をさせ、順次、周知をしていくなど、今後とも、住民の皆さまの安全確保と不安解消に努めてまいります。

防災・減災対策としましては、原発関係以外にも、避難所ともなる集会所や学校施設の耐震化など、地域防災力の向上に努めております。また、災害時の避難・輸送ルートの確保としまして、東海環状自動車道〔(仮称)大野神戸IC〕へのアクセス道路であり、国道303号バイパスでもある都市計画道路「大野揖斐川線」や、横山鶴見バイパス、冠山トンネルなど、町の幹線道路整備に取り組んでいるところであります。

暮らしやすさ、という観点では、

くの来訪者から、感謝の言葉が聞かれました。また、25回目の節目を迎えた「いびがわマラソン」におきましても、あいにくの雨の中、町民の皆さまが「おもてなしの心」で、全国から訪れたランナーを温かくお迎えくださり、無事に終了することができました。

これら行事の成功は、町民の皆さまが一丸となって取り組んでいた結果であり、あらためまして、私からも感謝を申し上げますとともに

安心して子どもを産み育てやすい環境づくりにも取り組んでおり、児童生徒の医療費無料化や不妊症治療費助成など、子育てに関するトータル的な支援施策を継続しております。また、健康で、いきいきと暮らせる環境づくりとして、各種健診や予防接種、介護予防事業なども継続実施するなど、誰もが暮らしやすいまちづくりに努めております。

あわせて、移住・定住促進にも引

き続き、重点を置いており、「田舎暮らし体験事業」、「空き家バンク制度」など、移住・定住希望者のニーズに沿った取り組みを進めているほか、新築住宅建設や住宅改修に対する各種助成に加えて、今年度から、民間企業の住宅建設や宅地造成への支援、利用者に対する家賃補助も実施しており、「揖斐川町に住みたい」と思う人が一人でも増えるよう、努力しているところです。

合併から8年が経過をする中で、町を取り巻く環境も大きく変わってきております。そうした環境の変化にしっかりと対応していくには、全町一丸となったまちづくりを進めていく必要があると考えております。



揖斐川町議会議長

清水政則

新年明けましておめでとうござい
ます。平成25年の年頭にあたり、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、明るく希望に
満ちた新春を、ご家族おそろいで
清々しくお迎えのこととお慶び申し
上げます。また、平素より町議会に

格別のご理解とご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

さて、昨年はロンドンオリンピック
クでの日本人の大活躍に国中が沸
き、ぎふ清流国体・清流大会では町
民総出のおもてなしの心で全国の選
手をお迎えすることができました。

また、第25回の記念大会となりまし
たいびがわマラソンには、1万人を
超える市民ランナーのエントリーを
いただきました。まさに、スポーツ
に燃え、スポーツを通じて町民が一
体となった、活気あふれた1年とな
りました。

しかしながら、依然として景気の
足踏み基調は変わらず、厳しい経済
情勢、財政状況下において、次の時代
を生き抜くためには、今こそ変革の
一歩を踏み出さねばならない時であ
ると思えます。

私ども議会といたしましては、こ
れからも皆さまのご意見を拝聴しな
がら、本町発展のため、より豊かな

住みよいまちづくりをめざして、議
会と町が切磋琢磨しつつ、皆さまの
信頼と期待に応えてまいりたいと存
じますので、なお一層のご支援とご
鞭撻を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、本年が町民の皆さまにと
りまして、実り多い年となりますよ
う、また皆さまの益々のご健勝とご
多幸を心からご祈念申し上げます。
て、新年のご挨拶いたします。

揖斐川町青少年育成町民大会開催



木原菜摘さん 森田啓一朗さん
総司会会の二人 揖斐高校2年



宗宮町長のあいさつ



ロビーには家庭の日ポスター・各地区公民館・各小中学校 PTA の活動パネルなどが
展示されました



青少年の健全な育成を願い、揖斐川町青少年育成町民会議主催による、「平成24年度揖斐川町青少年育成町民大会」が12月2日(日)揖斐川町中央公民館大ホールで開催されました。

この大会では、6月に行われた「揖斐川町青少年育成町民会議総会」で掲げた活動目標についての成果発表を行いました。揖斐高等学校の2人の生徒による司会で、当日は3部会の活動発表のほかに、各種表彰や藤橋地区のラジオ体操の取り組みの発表、小学生県外派遣（北海道芽室町・高知県宿毛市）の報告、揖斐高等学校MSリーダーズの活動報告が行われました。また、ロビーでは、揖斐高ショップも開催されました。わが家の家族時間の取り組み、各地区公民館活動、各小中学校PTA活動のパネルや家庭の日ポスターなどの展示もあり、次世代を担う青少年の育成において、地域ぐるみで積極的な活動を展開しています。

青少年部会



各部会の取り組みの発表



全体の取り組み

環境部会



家庭部会



揖斐高校 MS リーダーズの活動報告



大盛況の揖斐高ショップ

青少年の健全な育成を願い!!

平成24年度

揖斐川町民が期待する青少年の姿

1. 明るいあいさつができる青少年
2. 思いやりと感謝の気持ちをもって人に接する青少年
3. 善悪の判断や我慢のできる青少年
4. 社会参加に努め、ふるさと揖斐川町を愛する青少年
5. 明日への希望をもち、自立を目指す青少年



家庭の日啓発図画入選者

表彰者名簿 (敬称略)

◎「家庭の日」啓発図画入賞者

- 入選** 牧村 菜々子 揖斐小1年
入選 立川 未悠 春日小4年

◎第62回「社会を明るくする運動」作文コンテスト入賞者

- 優秀賞**
 高橋 里佳 北方小6年 松野 未空 谷汲中3年
 坂東 龍弥 清水小6年 折戸 友香 北和中3年
 高木このみ 谷汲小6年 高木 綺華 揖斐川中3年

- 優良賞**
 林 歩未 大和小6年 香田 莉菜 北和中3年
 長柄 凱貴 清水小6年 小寺 将弘 春日中3年
 横山 大朔 谷汲小6年 小寺 利奈 春日中1年
 宗宮 弘香 大和小6年 増田 勇哉 揖斐川中3年
 高橋真利華 久瀬小6年
 所 甫毅 春日小6年
 森田 真史 揖斐小6年

◎揖斐川町 PTA 連合会表彰

- 小谷いく子 北方小学校区
 高橋 順次 養基小学校区
 河村 幸子 清水小学校区



社会を明るくする運動作文コンテスト入選者



小学生県外派遣(北海道芽室町・高知県宿毛市)の報告

大人が変われば子どもも変わる

平成24年度 家族の一行詩優秀作品を紹介します！

揖斐川町青少年育成町民会議主催で、家族の一行詩を募集しました。合計2,904作品の応募があり、その中で、100作品を選出しました。今月号では48作品を紹介します。(敬省略・学年あいうえお順)

揖斐小学校1年	わかその 若園 美羽	「だいすきなおとうさん」
まいにちおしごとごくるうさま。これからもおしごとがんばってね。おうえんしてるよ。だいすき。		
養基小学校1年	おぎわら 萩原 一周	「じまん！！」
じまんだよ、ぼくのかぞくのなかよしは、どこにだってまけないんだよ！！		
大和小学校1年	みやた りゅうき	「あいさつ」
まいにち、おおきなこえであいさつしてるよ。ぼくは、あいさつヒーローなんだ。		
小島小学校1年	さかもと こうせい 坂本 晃生	「ぼくのおねえちゃん」
あさのぶんだんで、いつもうるさいおねえちゃん。でもなにかあったときに、たすけてくれる。いつもありがとう。		
谷汲小学校1年	すぎやま ななこ 杉山 菜々子	「まほうのみそしる」
おばあちゃんとおかあさんのつくるみそしるはまほうだよ。にがてなねぎもたべれちゃう。		
春日小学校1年	なかの りゅうせい	「おかあさん」
おかあさん、いつもぎゅーとしてくれてありがとう。		
清水小学校1年	はやし るきや 林 留企治	「かぞくのルール」
ゆうはんに「いただきます」のとうばんをまいにちきめていきます。はやくぼくのばんがこないかな。		
久瀬小学校1年	まつおか ゆうや 松岡 佑哉	「おとうと」
いつもケンカばかりしているおとうとだけど、ほんとはだいすきだよ。		
揖斐小学校2年	ほその あいか	「ありがとう」
いつのひも、すなおなところ、たいせつに。かぞくのえがおは、こころを、きらきらにするよ。		
養基小学校2年	たかはし ゆい	「ばんごはん」
ばんごはんのお手つだい。おかあさんとふたりでおあじみしたら、おいしくていっしょにわらったよ。		
大和小学校2年	おお うきょう 大ざわ 右京	「おかあさんありがとう」
おかあさん本当にありがとう。それはどうしてかという、おこるけどぼくをうんでくれたから。		
北方小学校2年	いわた なつき 若田 奈津希	「あゆ」
ママといっしょにあゆのおさしみをつくったよ。ぬるぬるしたけどたのしかった。手をきらないようにながらったよ。		
坂内小学校2年	あさ ゆう 朝くら 邑	「おとうさんのゆりきれいだね」
おとうさんが、がんばってそだてたゆりはきれいだね。		
谷汲小学校2年	かわい ひより 河合 日和	「家族のしあわせ」
ごはんが、たべれるのは、おじいさんのおかげ、ありがとうそしてしあわせありがとう。		
春日小学校2年	ふじはら たくま	「ありがとうお母さん」
おかあさん、がんばってうんでくれてありがとう。ぼくをうんでくれたから友達とあそべるよ。		
清水小学校2年	はら あいり	「朝のみおくりリレー」
かぞくのみんなで朝のみおくり、リレーのバトンみたいに、にこにこパワーをつなぐんだ。		
揖斐小学校3年	まつい しんせい 松井 心星	「家族のあいさつ」
ありがとう、おはよう、ごめんね、いただきます、何でも当たり前と思わないで声に出して言おう。		
養基小学校3年	ふじた だい 大 ち	「たいせつな家族」
なんでも話せる家族。楽しい事、かなしい事、いやな事これからも全部話すよ。		
大和小学校3年	いまい しゅうた 今井 翔太	「あいさつ」
「お帰りおつかれさん」の一言でお父さんのつかれた顔も、え顔になってくれる。いつもありがとう。		
北方小学校3年	しみず れいな 清水 玲奈	「家族は大切」
家族は大切だよ。だって、かぜをひいた時も家族が見てくれるよ。だから、家族は大切ってこと。		
小島小学校3年	ところ たいち 所 大智	「かぶと、くわがたさがし」
夏の夜、家族でかぶとさがし、見つからなくても楽しいよ。		
谷汲小学校3年	たかぎ るい 高木 琉衣	「バレーボール」
し合のとき大きな声でおうえんしてくれるママ、おうえんは、うれしいけど、少しはずかしい。		
春日小学校3年	ないとう ゆうき 内藤 優希	「え顔」
弟がわらうならぼくもわらっちゃう、ぼくがわらうならお母さんもわらう、そしてみんなわらう。		

清水小学校3年	いまむら ななほ 今村 菜々穂	「おばあちゃん」
おばあちゃん、あつい日も毎日水やりありがとう。今年の野菜もおいしかったね。		
揖斐小学校4年	かわにし あつき 川西 春輝	「かんしゃ」
お父さんとお母さんのおかげでぼくはこんなに大きくなったよ。いつもありがとう。		
養基小学校4年	おかざき あい 岡崎 彩な	「きずな」
いつでも、1人がピンチのときはたすけあう。それが大切なきずなだ。		
大和小学校4年	そうみや まどか 宗宮 まどか	「大へんだけど ありがとう」
夜、ねれないとお父さんやお母さんが話をしてくれてうれしいよ。ありがとう。		
北方小学校4年	かわせ ゆうと 河瀬 雄斗	「一日のかんしゃ」
ただいまといちばん最後にお父さん。これで全員そろったね。今日の一日に感しゃしよう。		
小島小学校4年	おぐら みさと 小倉 美里	「家族への思い」
おこったり、泣いたり、わらったり、家族に見せるす直な顔と心。		
谷汲小学校4年	まちた りな 町田 里奈	「ありがとう」
いつも「ありがとう」ってあまり言わないけど、心の中では「本当にありがとう」って思っているよ。		
清水小学校4年	みやがわ ひなた 宮川 日向	「お手伝い（お買物）」
今は軽い荷物しか持てないけど、私が大きくなったら重い荷物も全部持ってあげるね。		
久瀬小学校4年	やまだ りょうた 山田 りょう太	「日ごろのこと」
日ごろからきをつけよう、わがやの四力条、なかのよいかぞく。		
揖斐小学校5年	いいだ りょうや 飯田 稜也	「ありがとう」
「ありがとう」その言葉は家族と交わす言葉でどの言葉よりも心がこもった優しい一言。		
養基小学校5年	のむら まお 野村 真生	
私の家族はいつも笑顔、落ちこんでてもはげましてくれる。私もそういう大人になりたいな。		
大和小学校5年	やまかわ ひなまき 山川 姫名樹	「家族へのありがとう」
お父さん、お母さん、家族のみんな今まで大切に育ててくれて本当にありがとう。		
北方小学校5年	こうだ ゆうま 香田 悠真	「家族の夕食」
ぼくの家族はみんな仲よし。みんなで楽しく6人で夕食、笑って食べる食事は楽しいな。		
小島小学校5年	しみず すずか 清水 紗花	「いつまでも」
ずっといっしょだよ。みんないっしょだよ。ぜったい、ぜったいいっしょ。		
坂内小学校5年	しげつな ゆうへい 重綱 悠平	「大好きなお兄ちゃん」
大好きなお兄ちゃんが、下宿先から帰ってきてくれた時、キャッチボールできてうれしかったよ。		
清水小学校5年	ふじい まきや 藤井 将也	「お肉タップリご飯」
お母さん毎日ゴハンをありがとう。お肉タップリで元気モリモリこれからもお肉タップリでよろしくね。		
久瀬小学校5年	にしかわ なる 西川 成	「ありがとう」
毎日たくさんありがとう。おいしい料理をありがとう。これからもおかあさん大好き。		
揖斐小学校6年	こでら のぶひろ 小寺 信寛	「きずな」
家族のきずな。それは一番近い人を、大切にすることだよ。いつまでも仲良くしようね。		
大和小学校6年	そうみや みつき 宗宮 美月	「家族のでき事」
ケンカをする時もあつたけど楽しいほうが多かった。これからもそんな家族であり続けよう。		
北方小学校6年	なかもり あん 中森 杏	「笑顔」
我が家にはいつもたえない笑顔があるよ。それが我が家の大切な宝物。		
小島小学校6年	もり けんた 森 健太	「反発からのあこがれ」
たまに反発するけれど、やっぱり親はただしい。そしてそこからあこがれる。ありがとう。		
坂内小学校6年	たかはし たいせい 高橋 大晃	「家でのおぼくの仕事」
ぼくの仕事はふるそうじ。今日もゴシゴシそうじします。終わればバトンタッチ。湯をためるのはお父さんだからね。		
谷汲小学校6年	この さあや 古野 紗彩	「家族の思い出」
おじいちゃんがつくった流しそうめんを流す竹、家族みんなで流しそうめんはすごく楽しかった。		
清水小学校6年	ばんどう りゅうや 坂東 龍弥	「家族っていいね」
家族っていいね。ぼくの話をついて聞いてくれて同じ気持ちになってくれるから安心できるよ。		
久瀬小学校6年	おぐら あかり 小倉 茜利	「言葉の力」
「がん張れ平気だよ。」私はお母さんにそう言われてがんばれた、自信がついたんだ。ありがとう。		

タイトルの記載がない作品もあります。

いびがわマラソン情報！

11月11日(日)に開催された2012いびがわマラソンは、終日の雨で、寒い1日になりましたが、全国から集まった約9,000人のランナーと町中の人々が、まさに「家族みたいになれた日」ではなかったでしょうか？ 雨の中でのボランティア、そして心強い応援、寒さで凍えていたのではないのでしょうか。心より感謝します。今、マラソン事務局には、ランナーの皆さんから「お礼の手紙」や「生の声いただきますアンケート」が続々と届いています。いずれも、ボランティアとして活躍いただいた皆さんや沿道で応援し続けてくださった方への感謝の言葉でいっぱいです。大会をご支援いただき、ありがとうございました。



完走された揖斐川町の皆さん（大会最多の199人！）敬称略

男子フル		廣瀬 法昭	外津波	神足 健	上南方	小林 勝一	房島	浜田 吉晃	清水
杉本 榮五郎	乙原	窪田 祐直	小島	片倉 久一	上南方	小寺 慎二	白樺	橋本 孝市	極楽寺
高橋 豊和	三輪	細野 道秋	和田	杉山 和哉	谷汲木曾屋	藤井 彰全	清水	河瀬 九十九	北方
山口 尚志	三輪	渡邊 正明	岡	河瀬 弘太郎	北方	小谷 和彦	北方	小森 一平	小野
阿藤 弘	谷汲木曾屋	窪田 伝昌	和田	松井 巧	脛永	林 貞美	若松	女子ハーフ	
杉本 慎治	乙原	女子フル		小倉 武嗣	三輪	島岡 辰夫	志津山	平井 律子	三輪
川地 悟	三輪	山本 真理子	三輪	渡邊 行洋	脛永	小寺 秀慶	小谷	松波 有紗	脛永
早見 知浩	上野	松井 奈穂	脛永	中村 泰英	下岡島	馬場 好美	上野	小寺 育子	春日六合
牧村 哲男	新宮	窪田 美季子	和田	高橋 知也	脛永	松原 隆	小島	澤野 麻美	三輪
細野 芳勝	上ミ野	成瀬 純子	和田	窪田 高広	岡	千種 孝裕	三輪	野原 昭子	和田
野原 隆広	脛永	土川 由美子	上野	立木 拓郎	脛永	長屋 祐一	谷汲長瀬	宮川 久美	北方
増田 勝博	小谷	山本 千恵子	三輪	林 盟	房島	松野 秀稔	清水	堀 亜希	島
高橋 豊	脛永	高橋 寿子	日坂	坪井 重憲	下岡島	香田 洋孝	上南方	若原 尚美	上南方
井口 義信	市場	野原 千恵子	脛永	和田 健利	上南方	宗宮 徹	房島	今西 範美	北方
宮川 敏和	北方	竹中 明美	新宮	水野 隆明	上野	小椋 紀幸	新宮	水 けいこ	房島
松井 直紀	脛永	高橋 万里	小島	立川 秀樹	三輪	土川 裕	脛永	柏 華苗	三輪
若園 敏朗	三輪	上田 智美	房島	富田 智之	北方	吉田 千尋	北方	松原 美里	三輪
坪井 信親	三輪	男子ハーフ		細野 晃弘	上ミ野	畑中 弘樹	春日美東	宗宮 奈美	房島
新川 勇夫	市場	牧村 英充	脛永	野原 嘉人	脛永	佐々木 猛	志津山	四井 茉莉	岡
杉山 裕明	北方	高田 清隆	黒田	細野 真也	市場	高橋 芳信	三輪	国枝 早余子	和田
中村 邦利	小谷	吉田 俊和	北方	牧村 芳希	三輪	高橋 弘郎	春日美東	大橋 幸子	脛永
小寺 博文	脛永	牧村 光祐	北方	小岩 正寛	上野	野田 俊雄	三輪	立川 喜代	上野
橋本 康男	三輪	橋本 清誠	極楽寺	堀部 秀治	極楽寺	窪田 義隆	上南方	高橋 真奈	小島
高橋 治彦	小島	坪井 保憲	脛永	山本 幸一	谷汲岐礼	森本 彰徳	北方	高橋 美奈	小島
小石 三千秋	上野	宗宮 哲也	房島	竹中 丈晴	上野	HOSONO YASUHIKO	上ミ野	梅村 薫	市場
細野 浩司	三輪	高野 和臣	房島	野原 大知	脛永	中村 勇太	下岡島	藤原 好美	春日小宮神
山田 勝則	脛永	上田 天光	房島	野原 淳一	清水	若園 賢一	三輪	牧村 美鶴	脛永
藤敦 知洋	脛永	福田 貴之	清水	高野 佳祐	房島	小寺 桂一郎	春日六合	野田 志幸	北方
仲井 幸雄	谷汲神原	坂下 拓也	日坂	土本 英孝	脛永	長谷川 俊夫	上南方	鈴木 やよい	谷汲深坂
岩井 元彦	黒田	窪田 修平	和田	今村 浩樹	上南方	橋本 辰夫	極楽寺	小椋 ますみ	新宮
内藤 成勅	市場	堀 将士	脛永	山本 素輝	谷汲長瀬	高木 篤俊	清水	島岡 まき	志津山
山本 浩司	三輪	森 正樹	和田	松井 一憲	谷汲長瀬	牧村 健人	脛永	増田 葉絵	北方
内藤 重和	春日六合	鈴木 浩夫	新宮	窪田 誠司	和田	内藤 孝	脛永	細野 友美	北方
細野 幸司	和田	今村 芳隆	清水	松井 進太郎	和田	窪田 政泰	上南方	高野 眞美	房島
所 大樹	谷汲高科	廣瀬 啓	外津波	岩井 淳	黒田	大西 良和	三輪	若原 友子	上南方
坪井 秀行	三輪	井口 卓也	市場	河合 章弘	小島	寺井 佑介	北方	河瀬 洋子	北方
宮脇 恭顕	北方	岩井 勇樹	黒田	横山 陽一	谷汲徳積	高橋 一嘉	北方	佐々木 翔子	志津山
香田 圭祐	北方	中村 勲	下岡島	栗野 一男	房島	若原 大幹	上南方	浜田 知華子	清水
森田 良	三輪	若原 正美	福島	森 康二	春日六合	小野島 亮介	和田	小森 頼子	小野
高橋 喜芳	北方	細野 洋平	和田	出村 孝	三輪	磯川 情	谷汲神原		
増田 豊光	上野	安藤 展廣	小島	細野 康隆	和田	青木 耀平	清水		

揖斐川町のみなさんへ おもてなしの心届きました！



11月11日に開催された「2012いびがわマラソン」へ全国のランナーから、お礼の手紙やFAX・ホームペーシへの書き込みがありましたのでご紹介します。

😊 ボランティアの皆さん、応援してくれた小中学生のみなさん、沿道の町民の皆さん、そして大会役員の皆さん、本当に本当にありがとうございます。

揖斐川町民として誇りに出来る最高のイベントです。いつまでも長くこの大会が続きますように。

😊 これまで、ハーフに4回参加してありますが、初めての雨の中のマラソンでした。スタートは小降り、このまま行けるかと思っていたら、だんだん雨足も強くなり、途中かなり激しいときも。そんな中、沿道の応援にとても元気をもらいました。おそらく、走っている自分よりも、何倍も寒くないのに、笑顔で声をかけてくだ

さる姿に、先へ進む勇気が出てきました。これが「いびがわマラソン」の凄さだと感じました。本当にありがとうございます！

😊 フルマラソン2回目ですが今回は5時間以内が目標でした。寒かったけど、いびがわの方々の温かな気持ちに押され目標達成しました。大会主催者の皆さん、ボランティアの皆さん、また軒下から応援して下さったおじいちゃん、おばあちゃん、本当にありがとうございます。来年も帰ってきますので、その時またお世話になります。

😊 初めてのいびがわは生憎の雨でしたが、心に残る大会でした。口グーションもさることながら、雨の中サポートして頂いたボランティアの皆さん、本当にありがとうございます。中でもずぶ濡れになりながら頑張ってくれた中学生たちには感謝を通り越して感激です。風邪引かないでね！

😊 今日は雨の中、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございます。雨でも寒く辛い走りとなりましたが、いびがわの温かさの印象はいつもと全く変わらなかつたです。

地元の子どもさんたちやおじいちゃん、おばあちゃん方が、お風邪など召されないうことを祈ります。とにかく、たいへんではあったけど、とても素敵ないびがわマラソンでした。本当にありがとうございます！

😊 雨のフルマラソンは初めてで不安もありましたが揖斐川町の皆さんのおかげで完走できました。本当に揖斐川町全体で大会を盛り上げようとする姿が感じられる素晴らしい大会でした。

生憎の天気の中でも多くの声援、大会に携わってくださった運営、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございます。寒い中、一生懸命になって支えてくれた学生のボランティアさんには本当に力をもらいました。

テーマである『今、ありがとうを伝えたくて』ですが、こちらこそいびがわマラソンにありがとうと伝えたいです。本当にありがとうございます。

😊 ここ最近はずっと晴ればかりでしたが今年は終始雨でした。それにもかかわらず運営は素晴らしくさすがでした。一番感動したのは沿道の応援で、雨の中、子どもからお年寄りまで一生懸命応援されていました。なかなかできることではなく、本当に感動しました。こんな素晴らしい大会は他にないと思いますのでずっと続けてほしいと思います。

😊 今回初めてハーフに参加しました。国内マラソン大会5指に入るとの評判で以前から気になっており、やっと参加できました。天気は雨の中でのスタートとなりましたがスタートライン上(バケット車)からスペインアルドバイザーの高橋尚子さんと西田ひかるさんからの激励でテンションアップ。沿道では幼児園児をはじめ小中高生、ボランティアからの声援、さらに、いたる所での町民の応援に励まされ、アップダウンの厳しいコースを何とか完走できました。フィニッシュ後も色々な地元の方の出店があり楽しめました。雨が降っていませんでしたが、もっと良かったと思います。今まで色々

な大会に参加しましたがさすが噂どおりの大会と感じました。運営関係者・揖斐川町民の方、色々とおもてなしの行き届いた大会をありがとうございました。一つの町レベルで東京マラソンや名古屋・大阪・京都他都市主導のマラソン大会にも真似が出来ない素晴らしい大会でした。来年も参加します。

😊 今日は、雨の中揖斐川町のスタッフ(大人から子ども皆さん)の方々：本当にありがとうございます。僕も、初めていびがわマラソン(フル)に参加させて頂きましたが、コースは氷河期を思わせるほどの厳しさを痛感する反面・・・町を挙げてのランナーに対するおもてなしは、ハイビスカスが咲く南国のような心地よい暖かさ・・・走った僕だけではなく、家族、嫁と子ども(ウォーキングに参加)も喜んでいました。本当にありがとうございます。

😊 今回、フルマラソンに初参加させて頂いた頂きましたが大会レポートの評価に納得です。園児、小学生、中学生、大人、ご老人の沿道での応援が本当にすばらしい。今まで色々な大会に参加しましたが、他にはない大会です。雨が降った事なんか、まったく問題にならないくらいでした。

和歌山から車で片道約5時間かけて行った甲斐がありました。

ランナーの声が小中学生に届けられました♪

